# 平成28年度病害虫発生予報第8号（11月予報）

＜今月のコラム＞　・冬春期野菜の定植時及び生育初期の病害虫防除対策

・沖縄地方の温暖化の現状

## 今月のトピックス

### ミカンカメノコハムシ （パッションフルーツ、かんきつ類）
学名 ： *Cassida obtusata*



成　虫


パッションフルーツ葉の被害


ヒユ類の葉の食害痕



幼　虫

## 生態と被害

台湾、フィリピン、インドシナ等の東南アジア地域に広く分布するハムシ類の一種で、沖縄県では侵入種であると考えられている。成虫の体長は4mm前後。1987年に石川市（現、うるま市）で温州みかんの葉への被害が確認され、1990年には多発生が問題となったが、それ以降には被害の報告例はなかった。本年８月に、糸満市のパッションフルーツ栽培施設において本種成虫による葉の加害が確認され、26年ぶりに害虫として再認識された。本来はヒユ類やツルノゲイトウ等のヒユ科植物を寄主としている。上述のパッションフルーツ施設周辺のヒユ類にも多発生していたため、これらが施設内に侵入したものと考えられる。対策としては、施設の開口部をネット等で覆うことによる侵入防止や、発生源となるヒユ科雑草の除去を行う。

http://www.pref.okinawa.jp/site/norin/byogaichubojo/index.html

平成28年10月28日
沖 縄 県 病 害 虫 防 除 技 術 セ ン タ ー